

■一宮西港道路推進協議会総会

東海北陸自動車道の一宮・稲沢北 IC から伊勢湾岸自動車道への南伸(一宮西港道路)に向けて地元市町村で構成する推進協議会の総会が開催されました。事業は現在**計画段階評価(概略ルート・構造の検討)**で3月の第2回中部地方小委員会で概のルート3案が示され今年度中には対応方針(案)が審議される予定です。

案①東側ルート(西尾張中央道活用)：
既存道路の活用により用地取得面積を抑えつつ、西尾張・海部地域東部の都市を経過することで、西尾張・海部地域東部の高速アクセス性に優れ、東海北陸自動車道から名古屋港までを最短距離で接続するルート

案②中央ルート：
新設の道路で市街化区域等への影響を極力回避しつつ、海部地域の概ね中央部を経過することで、西尾張・海部地域の高速アクセス性において地域全体の均衡がとれるルート

案③西側ルート(国道155号活用)：
既存道路の活用により用地取得面積を抑えつつ、海部地域西部の都市を経過することで、西尾張・海部地域西部の高速アクセス性に優れたルート



■トピックス

●稲沢市子ども会連絡協議会総会

市子連の総会が行われ中高生のジュニア&大学生社会人のシニアリーダーの挨拶&ゲーム(シニアリーダーは子ども会の全国大会(北海道で開催)で表彰されました)でほっこりした後、六鹿市議会議長に続いて会員の減少傾向にある各種団体の現状に触れながら鈴木もエールを送りました。



●連合愛知尾張南地協メーデー

第95回連合愛知尾張南地協(代表:後藤豊田合成労組委員長)のメーデーファミリーフェスティバルが開催され各労組役員さんによるブースに多くの親子連れの皆さんが楽しめました。スローガンは「自分時間の充実! どうする休日?」です。鈴木は稲沢市・津島市の両社協さんによるイベントも体験!



●尾張水防組合水防・防災訓練

愛知県尾張水害予防組合の水防・防災訓練が木曽川犬山緑地で実施され、稲沢の各分団から総勢60名が参加し出水期を前に積土のう工に取り組みました。また15年勤続組合議員として元稲沢市消防団長の石黒幸吉様が表彰されたほか勤続消防団員の皆さんも表彰されました。



●連合愛知尾張南地協県政報告

連合愛知尾張南地協(代表:後藤豊田合成労組委員長)の幹事会で県政報告の機会を頂きました。丁度あいち民主県議団の団長のバトンを森井議員に渡した節目でしたので、一年を振り返っての知事要望や県の重要施策、街宣など活動報告などさせて頂きました。



●稲沢市シティアテンダント

2024年度の稲沢市シティアテンダントの皆さんが稲沢植木まつりで顔見世! 2代目となる本年は男性アテンダントも誕生しました。1年間稲沢市のPRにイベントやインスタなど様々な活動に挑戦して稲沢市を盛り上げてくれます。メンバーは左から内藤央雅(おうが)さん、花房美来(みく)さん、浅利茉莉奈(まりな)さんです。



●大村ひであき政経セミナー

愛知県知事大村秀章氏の政経セミナーが開催され木全、岡野両稲沢市議と参加しました。「愛知が起す成長革命V」と銘打ってスタートアップに向け本年10月末開業のSTATION Aiや愛知国際アリーナ(IGアリーナ)、アジア・アジアパラ競技大会、市町村と取組む人口減少対策など力強く発信されました。



愛知県議会報告

J-PRESS

あいち民主県議団

責任者: 鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

愛知県議会報告はあいち民主県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

政治資金規正法改正

7月3日に閉会した愛知県議会6月定例会の提案理由の説明の中で、知事はいちデジタルヘルスプロジェクト(健康長寿都市あいち)、代替滑走路整備(2027年度)を目指す中部国際空港の第2滑走路整備、アジア・アジアパラ競技大会、ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸(2025年9月25~28日、観光大臣会合等10万人規模)、交通安全対策の推進などに触れられました。

一般会計の増額補正は愛知県基幹的広域防災拠点の整備推進(1期として消防学校分のアドバイザー契約)に1,849万円及び発酵食文化の魅力発信に2,382万円のほか、条例の一部改正では法人事業税について外形標準課税の適用対象法人の見直し、来年4月1日から津島北高校と海翔高校を統合し津島北翔高校を設置するものなどすべての議案について可決しました。



また、カーボンニュートラル調査特別委員会(理事)に所属しグテーレス国連事務総長が危機を訴えた「地球沸騰化」への対策を推進するほか、政治倫理審査会にも所属します。



藤井聡太7冠が棋聖戦5連覇し永世称号を最年少で獲得しました。叡王戦では負けて学ぶことが多いと言われましたが常勝の難しさを乗り越えての栄誉です。9月は自民も立民も代表選のようですが大谷翔平選手の3冠前に衆議院総選挙となりますか? Let's Vote! 投票へ行こう!



第20回稲沢市消防操法大会で稲沢市消防団第一分団(稲沢市民センター地区)が優勝! 各分団は年度当初から仕事の終わったあと家族との時間も犠牲にして消防本部の協力を得ながら訓練に励んでいました。県大会は7月20日です。



動物福祉政策推進議連設立

議員は8常任委員会総務企画、県民環境、福祉医療、経済労働、農林水産、建設、教育・スポーツ、警察、稲沢市議会では総務、文教厚生、経済建設の3委員会の一つに必ず所属しますが鈴木は4回目となる**農林水産委員会委員**(理事)に選任されました。本県は農業産出額が3千億円ほどの全国の第3グループに位置する農業県でもあります。委員会ではIT化やスタートアップも視野に、食育推進や農業・園芸・畜産・水産などの各課を所掌する農業水産局、並びに土地改良などの農地部や林業関係等を所掌する農林基盤局を所管します。



愛知県議会議員
(稲沢市選出)

SUZUKI

すずき 純



■愛知県・市町村人口問題対策検討会議

県の人口は2019年の約755万4千人をピークに4年連続で減少、平成の合併前の旧88市町村別の人口で2005年と2020年を比べて10%以上減少している20地区(11市町村)と県を中心に、参加希望の29自治体(当初より9増)で協議体を新設しました。

愛西市の2地区は旧立田村(8,116⇒6,920)と八開村(4,832⇒4,314)です



オブザーバーの29市町村:

半田市、津島市、刈谷市、安城市、犬山市、常滑市、**稲沢市**、東海市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、豊明市、長久手市、大治町、飛島村、阿久比町、東浦町、武豊町、幸田町、瀬戸市、蒲都市、小牧市、大府市、清須市、弥富市、みよし市、あま市、蟹江町

稲沢市はオブザーバー参加

11市町村:岡崎市、豊田市、西尾市、新城市、田原市、愛西市、南知多町、美浜町、設楽町、東栄町、豊根村

■愛知県の人口動向について

人口は2019年の約755万4千人をピークに4年連続減少2023年10月1日時点で約748万1千人、自然増減は2017年に減少に転じ2023年の減少数は3万人超、社会増減は1万3千人の増加

■当面の検討課題と現状について

関係市町村のヒアリングを受けて当面の検討課題を3点抽出

1農林水産業の振興・担い手の確保・育成に関する施策の共有と連携

農林水産業の経営体数は大幅減少(農業49%、林業82%、漁業31%)、水路保全など集落総戸数が9戸以下になると著しく低下※農起業支援ステーションや農業塾、半農半X※¹、農福連携等の支援

※1:別の仕事(やりたい事X)をしながら農業(自足分だけ)をするライフスタイル

2地域交通の確保:人口減少下における**公共交通の在り方及び持続可能な方策**

高い自家用車への依存度など将来の地域像を見据えた公共交通の在り方や持続可能なネットワーク、移動手段を検討※市町村間を結ぶ幹線バス路線の支援、新モビリティサービスの実証実験等

3空き家の活用:移住者・定住者等の住まいの確保に向けた**空き家の利活用**

本県の空き家数は**433,200戸**となり過去最多、空き家率は上昇傾向で11.8%、移住希望者の住まい確保に向けた空き家の利活用を検討※空き家対策担当者連絡会議、民間空家住宅改修費補助事業などの支援

■意見交換では

日永愛西市長は市街化区域が市全体4.7%(旧立田・八開は0)、駅や土地利用等により状況が異なると指摘。

■あいち民主県議団県政報告街宣

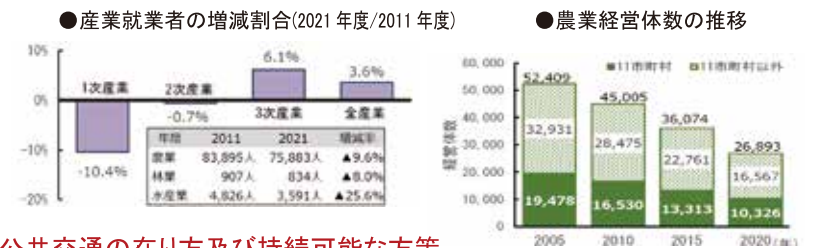
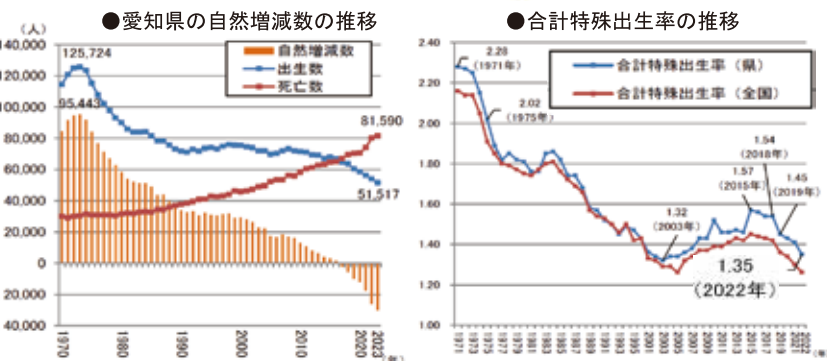
2月議会報告を栄メルサ前交差点で団員の皆さんと行いました。定例会毎の県政報告は鈴木が総務会長の時に議会改革の一環として始めてから14年です。**4月13日中日新聞県内版**→



議場での質問や答弁街頭で通行人に紹介あいち民主県議団

県議会の会派「あいち民主県議団」は12日、名古屋・栄の街頭で、街行く人たちに2月定例会の取り組み内容について報告した。県議会への関心を持ってもらおうと定例会ごとに独自に報告会を実施しており、今年で14年目を迎えた。28人の所属議員の大半が参加し、栄交差点に立った。2月定例会で一般質問した議員がマイクを握り、少子化対策やカーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)など、議場での質問の趣旨や県側の答弁内容などを紹介した。自民党の裏金問題に端を発し、最近では国民の政治不信や政治離れが指摘されている。鈴木純団長は「こんな時期だからこそ地道な活動を実直に続け、信頼される県議会を守っていききたい」と意気込んでいた。

県議会での取り組みを報告するあいち民主県議団＝名古屋・栄で

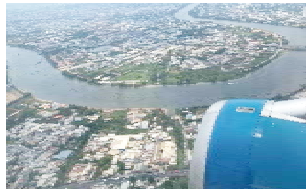


■日越友好議員連盟ベトナム調査

日越友好愛知県議会議員連盟で4月8日から12日の3泊5日の日程で7年ぶりにベトナム社会主義共和国を訪問(直江団長、神野・鈴木・木藤副団長はじめ18名)しました。

【在ホーチミン日本総領事館表敬訪問】県内在住者約**53,000人**(全国1位、全国約52万人)平均年齢**31歳**(日本49歳)

小野総領事からホーチミン市及び近郊都市の日本企業の進出状況と投資環境についてお話を伺い、企業の進出については現地商工会議所などが力を入れているが法整備の問題や未だに役所対応等に時間がかかる実態など課題を拝聴しました。



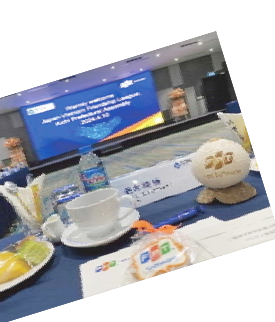
【人材育成・派遣】

サイゴンツーリスト専門学校(ヴァン校長)では充実したホテル設備、優秀な講師陣の中、ベトナム人以外も研修、就職先は国内のホテル・レストランが7割の他、日、独、仏、米、加、豪等の英語圏です。

前回も訪れたミライヒューマン日本語センター(タン専務)では派遣先は収入の点では韓国などに押されている状況で日本の企業側からも郡部の貧しい農民の方がよく働くなどの要望もあり、都市部の生活水準も上がっているとの事です。



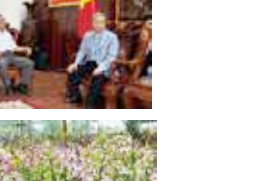
FPT ソフトウェア(ハ会長)はソフトウェアの人材育成を含めた巨大な会社です。3万人、30の国へグローバル展開しており、社内の報奨制度も充実していて毎年1200人採用を目指し、日本・名古屋にも駐在員がいて300人常駐を2027年には1000人に拡大が目標。中部の企業との連携と交換留学生の2要望を頂きました。



FPT 大学では卒業生の2割(前は4割だった)がFPTに就職しており、小学校から大学まで合計すると15万人を抱えています。

【都市基盤整備等】

ヴィエツサン工場ではリサイクルと水処理について(ベトナムの最賃560万ドン/月に対し800万ドン(約5万円)で就労)などを。国営ビンフン排水処理場では日越共同で始めてから20年がたち現在は2100ha230万人のエリアをカバー、2030年までに市の8割の処理を目指しています。



【農業基盤整備等】

ビンチャン省書記長から農業だけではなく省の概要などお伺いした後、野生のランの栽培施設と、ベトナムの桜といわれる栽培施設を見学しました。

